凋落正に秋深しちょうらくまさ あきぶか ひょうらくまさ あきぶか 数知れず

<u>=</u>

小さき鳥の乱れ飛び 駅杏並木の夜歩きは 駅杏並木の夜歩きは たり みだ とり みだ とり のまたり のまかけ

憂愁正に秋深しいのであるがある。 これじき おきぶか こんじき

が窓越

し蔦の葉も

四

懊悩正に秋深し いの底に滲み入りて ががあった。 なぐいも切れずただ涙 ながいも切れずただ涙 ながいも切れずただ涙 ながいも切れずただ涙 ながいも切れずただ涙 ながれ落ちては地に吸われ